第 25 回通常総会

2019 年 3 月 13 日（水）

一般社団法人　言語処理学会

The Association for Natural Language Processing

第 25 回通常総会次第

日時 2019 年 3 月 13 日（水） 12 時 20 分～13 時 00 分

会場 名古屋大学 IB 電子情報館 1F IB014 講義室

総会次第

第 1 号報告 2018 年度事業報告

第 1 号議案 2018 年度決算報告

第 2 号報告 2018 年度監査報告

第 3 号報告 2019 年度事業計画

第 4 号報告 2019 年度予算案

第 5 号報告 2019 年度代議員構成

以上

第1号報告

2018 年度事業報告

1. 概要

言語処理学会の主要活動として, 論文誌「自然言語処理」の発行および年次大会の開催を計画通りに進めました.「自然言語処理」に関しては, 第 25 巻の 1 号から 5 号を発行しました. 第 24 回年次大会は, 2018 年 3 月 12 日(月)から 16 日(金)まで, 岡山コンベンションセンターで開催しました.

2. 会員現況

正会員	854 名 (+81) [うちシニア会員 18 名 (+2)]
学生会員	106 名 (+28)
賛助会員	21 組織 (+1), 22 口 (+1)
特殊購読会員	34 組織 (−4), 42 口 (−4)

(2018 年 12 月 31 日現在, 増減は 2017 年 12 月 31 日との比較)

なお, 定款第 11 条 1 項 2 号にもとづき, 会費を 1 年以上滞納した会員 66 名(正会員 44 名(うちシニア会員 0 名), 学生会員 22 名)については, その会員資格を喪失したものとして扱います.

3. 会誌の発行

第 25 巻第 1 号 (2018 年 2 月発行, 通巻 114 号)
　巻頭言,「言語処理の応用システム」特集号論文 4 編, 技術資料1編, 会告
第 25 巻第 2 号 (2018 年 3 月中旬発行, 通巻 115 号)
　巻頭言, 論文 3 編, 会告
第 25 巻第 3 号 (2018 年 6 月発行, 通巻 116 号)
　巻頭言, 論文 2 編, 会告
第 25 巻第 4 号 (2018 年 9 月発行, 通巻 117 号)
　巻頭言, 論文 6 編, 会告
第 25 巻第 5 号 (2018 年 12 月発行, 通巻 118 号)
　巻頭言, 論文 6 編, 会告

なお, 2018 年 1 月より同期式査読に移行し, すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行っています. これにより「○月○日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証され, 投稿計画が立てやすくなりました.

4. 第 24 回年次大会の開催

◇ 開催日: 2018 年 3 月 12 日(月)~3 月 16 日(金)
◇ 会場: 岡山コンベンションセンター(岡山県岡山市)
◇ プログラム
　[一般発表　口頭発表] 3 月 13 日~15 日　発表件数 160 件
　[一般発表　ポスター発表] 3 月 13 日~15 日　発表件数 156 件
　[一般発表　テーマセッション発表] 発表件数 16 件
　　「言語教育と言語処理の接点」(発表件数:10 件)
　　「翻訳における人間と機械の協働: for what, how, where, when and why?」(発表件数: 6 件)
　[招待講演]
　　定延 利之 先生(京都大学教授)
　　　「非流ちょうな音声言語の規則性をさぐる」(3 月 13 日)
　　戸次 大介 先生(お茶の水女子大学准教授)
　　　「理論言語学と自然言語処理と」(3 月 15 日)

［招待論文講演］（4 件）3 月 15 日
「音声対話ロボットのための傾聴システムの開発」(Vol.24 No.1, pp.3-47)
下岡和也・徳久良子・吉村貴克・星野博之・渡部生聖
「多様性の導入による推薦システムにおけるユーザ体験向上の試み」(Vol.24 No.1, pp.95-115)
関　喜史・福島良典・吉田宏司・松尾　豊
「Phrase Structure Annotation and Parsing for Learner English」(Vol.24 No.3, pp.491-514)
Keisuke Sakaguchi and Ryo Nagata
「大規模コーパスに基づく日本語二重目的語構文の基本語順の分析」(Vol.24 No.5, pp.687-703)
笹野　遼平・奥村　学

［ミニシンポジウム］「自然言語処理の歩みとこれから」3 月 14 日
標記のタイトルでミニシンポジウム（企画: 飯田仁先生（東京工科大学名誉教授); 登壇者:辻井潤一先生(産総研人工知能研究センター長), 河原達也先生（京都大学教授）を実施しました. 限られた時間の中で活発な議論が行われました.

［若手チュートリアル講演］(3 件)　3 月 12 日
江里口瑛子さん(東京大学)
「失敗した後に取り組むべきこと」
吉川友也さん(千葉工業大学)
「新設研究センターで働くということ」
進藤裕之さん(奈良先端科学技術大学院大学)
「若手大学教員の仕事」

［一般チュートリアル講演］(4 件)　3 月 12 日
前田新一先生, 藤田康博先生(プリファードネットワークス)
「ゼロから始める深層強化学習」
坊農真弓先生(国立情報学研究所)「
「手話と日本語の関係」
松崎拓也先生(名古屋大学)
「自然言語で書かれた数学問題を計算機で解く」
澤田英夫先生(東京外国語大学)
「「カチン」の言語のフィールドワーク」

［ワークショップ］(2 件)　3 月 16 日
「形態素解析の今とこれから」
代表提案者: 工藤拓(グーグル)
「言語処理研究者・技術者の育成と未来への連携」
代表提案者: 賀沢秀人(グーグル)

［スポンサーイブニング］3 月 12 日
スポンサー企業・組織と参加者(とくに学生) との交流を目的として, 今回, 初めて実施しました. 会場や時間の制約があるなか, まさに手探りでの実施という形となりましたが, 結果としては大変に好評でした.

◇ 年次大会優秀賞・若手奨励賞
大会前に選考を行い, 大会期間中に表彰する形式を踏襲しています. 全ての一般発表論文(332 件)を対象に審査を行い, 大会賞を選定しました. 優秀賞選考は, 全論文に対する計 176 名の選考委員による 1 次選考と, そこで絞り込まれた優秀賞候補 26 件に対する 8 名の最終選考委員による最終選考の二段階で行い, 最優秀賞 2 件, 優秀賞 4 件を選定しました. 若手奨励賞選考は, 今回から優秀賞選考とは独立に最終選考を行うこととし, また受賞件数も最大 10 件程度とするよう変更しました. 優秀賞と同様に1次選考の結果選ばれた若手奨励賞候補 19 件に対して4名の最終選考委員による最終選考を行い, 若手奨励賞 9 件を選定しました.

第 24 回言語処理学会年次大会優秀賞
■最優秀賞（2 件）
C6-1 深層コード学習による単語分散表現の圧縮
○朱中元, 中山英樹（東大）
D5-2 情報検索とのマルチタスク学習による大規模機械読解

〇西田京介，斉藤いつみ，大塚淳史，浅野久子，富田準二（NTT）

■優秀賞（4 件）

A1-1 ニューラルヘッドライン生成における誤生成問題の改善
〇清野舜（東北大），高瀬翔，鈴木潤（NTT），岡崎直観（東工大），乾健太郎（東北大/理研 AIP），永田昌明（NTT）

B1-5 サブワード正則化: 複数のサブワード分割候補を用いたニューラル機械翻訳
〇工藤拓（グーグル）

E1-2 Entity-Centric な述語項構造解析・共参照解析の同時学習
〇柴田知秀，黒橋禎夫（京大/CREST）

P11-3 依存構造の連鎖を考慮したニューラル文圧縮
〇上垣外英剛（NTT），林克彦（阪大），平尾努，永田昌明（NTT）

第 24 回言語処理学会年次大会若手奨励賞（9 件）

B2-4 ニューラルネットを用いた多方言の翻訳と類型分析
阿部 香央莉（東北大）

B3-6 言語横断的情報検索の大規模データセットとパラメータ共有モデル
佐々木 翔大（東北大）

B7-3 DRQN による幼児の語彙獲得のモデル化
野口 輝（電通大）

C4-5 読解による解答可能性を付与した質問応答データセットの構築
鈴木 正敏（東北大）

C5-4 自然言語処理における解釈可能な敵対的摂動の学習
佐藤 元紀（NAIST）

E5-3 自然演繹に基づく文間の含意関係の証明を用いたフレーズアライメントの試み
谷中 瞳（東大）

E6-1 因果関係に基づくデータサンプリングを利用した雑談応答学習
佐藤 祥多（東北大）

P4-21 敵対的生成ネットワークを用いた機械翻訳評価手法
松村 雪桜（首都大）

P10-4 知識ベース埋め込みのためのペアワイズ積 L1 正則化
真鍋 陽俊（NAIST）

◇ まとめ

年次大会の参加者は，地方開催であるにも関わらず事前受付 771 名，当日受付 198 名，招待者 14 名の合計 983 名となり，過去最高を更新しました．発表件数やスポンサー申し込みも多くあり，会議全体として活気に溢れた大会となりました．

年次大会の運営は従来のものを踏襲しつつ，今回新たに下記の施策，改良を行いました．

- コンベンションセンターにおける大会実施
- 優秀賞と若手奨励賞の最終審査を分離，若手奨励賞の受賞件数を増加
- 若手チュートリアルの実施
- スポンサーイブニングの実施
- 託児サービスの実施
- Twitter による情報発信
- 参加証の色分け（学生／一般）
- （年次大会終了後の）アンケートを実施

今回はコンベンションセンターで初めて開催して参加者の利便性や快適性に配慮しました．しかし，参加者が過去最大となったことから，開催直前になって中継会場を増やすなどの措置をできるだけ行いましたが，それでもポスター会場が狭く感じられたりするなどの問題点がありました．また，現在の発表フォーマットを極力変更せずにプログラムを組んだため，休憩時間が少なかったり夕方の終了時間が遅くなったりするなどご不便をおかけしました．これら問題はいずれも規模拡大に起因する問題ですので，今後改善するよう努力します．

今後も，学会会員にとってより有効な情報交換の場となるように，必要な改善をおこない，年次大会をます

ます発展させていきたいと考えています．今回，初めての試みとして，年次大会終了後にアンケートを実施し，非常に多くの方々から様々なご意見を頂戴することができました．ここでのご提案，ご要望は次回の年次大会運営に引継ぎ，可能なものから反映させたいと考えています．あわせて，皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています．

5．ニュースレターの発行

2018 年には，ニュースレターVol.25 No.1－No.3 の 3 号を発行し，学会運営，大会案内，大会優秀賞，論文賞，COLING2018 学生参加旅費支援，言語処理技術セミナー開催などについて会員の皆さまへの情報提供を行いました．これらのバックナンバーは，学会ホームページでも公開しています．

6．理事会の開催

計 7 回の理事会を開催し，入退会会員の承認，事業計画，予算，論文賞選考，年次大会の方針，年次大会優秀賞，ニュースレター発行，関連学会等への協賛等について審議し決定しました．また，言語処理技術セミナーの新規開催や，COLING2018 への学生参加旅費支援，事務局における文書保管状況の確認や文書保存期限の策定などの学会運営についても議論しました．さらに理事会の出欠確認や資料集約をクラウドベースに移行するなど，業務の効率化も行いました．

理事会開催:
第 120 回（2018 年 1 月 31 日，国立情報学研究所）
第 121 回（2018 年 3 月 12 日，岡山コンベンションセンター）
第 122 回（2018 年 3 月 13 日，岡山コンベンションセンター）
第 123 回（2018 年 5 月 18 日，国立情報学研究所）
第 124 回（2018 年 7 月 6 日，国立情報学研究所）
第 125 回（2018 年 9 月 5 日，国立情報学研究所）
第 126 回（2018 年 11 月 12 日，国立情報学研究所）

7．編集委員会

◇編集委員会の会議

2018 年は，実際に顔を合わせる編集委員会を 2 回開催したほか，随時，メール審議の形式で編集委員会を開催し，採否決定の一層の迅速化に努めました．

編集委員会開催:
第 98 回（2018 年 3 月 13 日，岡山コンベンションセンター）
第 99 回（2018 年 9 月 30 日，国立情報学研究所）

◇英文校正サービスとコーパス化

2018 年掲載論文について，11 件の論文のタイトルと概要の英文校正ならびに 3 件の英文論文の本文の英文校正を実施しました．また，多数の著者の協力を得て，校正前の英文と校正後の英文を「言語処理学会英文校正コーパス」として管理し，会員の求めに応じて提供しています．

◇2018 年度論文賞の選考

2018 年に出版された自然言語処理 25 巻 1 号から 5 号に掲載された論文 22 編から相応しい論文を推薦することを目標として，黒橋禎夫副編集長が論文賞一次選考委員長，論文賞最終選考委員長を務め，それぞれ編集委員を選考委員とする選考委員会（一次選考は 28 名，最終選考は 10 名）を編成して選考を実施し，下記の論文を選定しました．

（最優秀論文賞）
タイトル：平易なコーパスを用いないテキスト平易化
著者： 梶原 智之， 小町 守
発行巻号頁： Vol.25 No.2, pp.223-249

（論文賞）
タイトル： 二値符号予測と誤り訂正を用いたニューラル翻訳モデル
著者： 小田 悠介，Philip Arthur，Graham Neubig，吉野 幸一郎，中村 哲

発行巻号頁：Vol.25 No.2, pp.167-199

（論文賞）
タイトル：名詞句の情報の状態と読み時間について
著者：浅原 正幸
発行巻号頁：Vol.25 No.5, pp.527-554

◇自然言語処理の電子化

創刊号から2008年度までの本誌の全件が，JSTの電子アーカイブ事業により無償で電子化されJSTのサイトJournal@rchiveで公開されています．また，2009年度以降の本誌も，上記Journal@rchiveと一体的に運営されているJ-STAGEで公開されており，新規に出版されたものは三ヶ月後に電子化され公開されます．すなわち，現在，創刊号から，紙媒体で出版後三ヶ月経過した号まで，常時，電子的に閲覧可能となっています．

◇論文掲載数および投稿数

2018年は，通常号4号の発行に加えて，「言語処理の応用システム」（Vol.25 No.1）を出版し，総計22編の論文を刊行しました．「自然言語処理」への2018年の通常論文投稿数は，昨年の1.3倍の32編でした．

8. 助成，協賛，後援

以下の会議への助成，協賛，後援を行いました．

(1) 第9回産業日本語研究会・シンポジウム（後援）
丸ビルホール 2018年3月5日
(2) 第21回 画像の認識・理解シンポジウム（MIRU2018）（協賛）
札幌コンベンションセンター 2018年8月5～8日
(3) NLP若手の会(YANS) 第13回シンポジウム（助成）
喜代美山荘 花樹海 2018年8月27～29日
(4) 人工知能学会 合同研究会2018（協賛）
慶應義塾大学 2018年11月22日～23日
(5) IDRユーザフォーラム2018（後援）
国立情報学研究所 2018年11月28日
(6) 第16回ロボット聴覚システムHARK講習会，第5回HARKハッカソン（協賛）
早稲田大学 2018年12月4～5日

9. その他

学会出版企画として刊行している「実践・自然言語処理シリーズ」（近代科学社）の第2巻『形態素解析の理論と実装』を出版しました．

産業界向けのイベントを新たに企画し，2018年11月19日にコングレスクエア日本橋 3FホールDにおいて言語処理技術セミナーを開催しました．87名の参加者に対し，須藤克仁氏（奈良先端大），金山博氏（日本IBM），徳久良子氏（豊田中研）による講演を行いました．

第8回（平成29年度）日本学術振興会 育志賞に，本会からの推薦により，橋本和真氏（東京大学）が選ばれました．

一般社団法人言語処理学会　正味財産増減計算書

2018年 1月 1日から2018年12月31日まで

（単位：円）

科　　　目	予算額	決算額	差異	備考
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[7,832,000]	[8,276,000]	[-444,000]	
正会員受取会費	(6,164,000)	(6,368,000)	(-204,000)	
正会員当年度	5,976,000	6,264,000	-288,000	@8,000円×783名
正会員過年度	128,000	40,000	88,000	@8,000円×5名
正会員(シニア)当年度	60,000	64,000	-4,000	@4,000円×16名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	
学生会員受取会費	(308,000)	(388,000)	(-80,000)	
学生会員当年度	300,000	388,000	-88,000	@4,000円×97名
学生会員過年度	8,000	0	8,000	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(900,000)	(1,100,000)	(-200,000)	
賛助会員当年度	900,000	1,100,000	-200,000	1口50,000円×22口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(460,000)	(420,000)	(40,000)	
	460,000	420,000	40,000	10,000円×42件
事業収益	[19,755,000]	[22,632,000]	[-2,877,000]	
学術研究事業(年次大会)	(16,400,000)	(19,720,000)	(-3,320,000)	
年次大会参加費	6,990,000	8,550,000	-1,560,000	
年次大会懇親会費	1,010,000	1,400,000	-390,000	
年次大会協賛・広告	7,100,000	8,520,000	-1,420,000	
年次大会助成・補助	1,300,000	1,250,000	50,000	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(3,355,000)	(2,912,000)	(443,000)	
論文誌広告料	180,000	130,000	50,000	
別刷代	2,455,000	1,660,000	795,000	24巻5号～25巻4号
雑誌頒布収益	0	21,000	-21,000	バックナンバー売り上げ
産業界向けイベント参加費	720,000	1,101,000	-381,000	
受取補助金等	[ ]	[0]	[0]	
雑収益	[1,500]	[107,298]	[-105,798]	
受取利息	1,500	264	1,236	
雑収益	0	107,034	-107,034	
経常収益計	27,588,500	31,015,298	-3,426,798	
(2) 経常費用				
事業費	[27,441,169]	[23,579,517]	[3,861,652]	
年次大会開催費	(13,898,884)	(13,070,734)	(828,150)	
年次大会運営サポート費	1,732,687	345,776	1,386,911	NLP2018(3期目分)
受付代行費	1,143,240	1,189,203	-45,963	参加登録システム等
資料作成費（印刷費）	423,900	484,078	-60,178	プログラム冊子
コンファレンスバック代	200,000	223,236	-23,236	
プログラム委員会費	571,721	475,443	96,278	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	5,649,336	6,619,856	-970,520	施設利用、会場備品、休憩室費用
年次大会人件費	800,000	816,500	-16,500	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	350,000	498,922	-148,922	
論文賞招待旅費	50,000	66,000	-16,000	
代議員会等会議費	672,000	360,334	311,666	代議員会、スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	225,000	230,000	-5,000	優秀賞・奨励賞の賞金+賞状等
年次大会懇親会費	1,530,000	1,691,390	-161,390	
実施委員会費	0	0	0	
託児委託費	541,000	0	541,000	
年次大会雑費	10,000	69,996	-59,996	
普及啓発事業	(13,542,285)	(10,508,783)	(3,033,502)	
論文誌印刷費	3,347,069	2,692,329	654,740	25巻1号～25巻5号
論文誌通信運搬費	705,268	738,821	-33,553	25巻1号～25巻5号
論文誌編集費	1,785,240	1,357,992	427,248	25巻1号～25巻5号
論文誌電子化費用	125,820	106,380	19,440	25巻1号～25巻5号
編集委員会費	390,000	377,346	12,654	会合費、旅費、他
編集事務局費	1,500,000	1,584,517	-84,517	編集事務局給与(2017.12～2018.11)
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	195,999	14,001	
論文誌活性化支援	408,888	113,284	295,604	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	150,000	252,600	-102,600	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	100,000	0	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	4,000,000	1,750,000	2,250,000	
産業界向けイベント開催費	720,000	1,239,515	-519,515	
普及啓発事業雑費	100,000	0	100,000	
管理費	[3,702,800]	[3,558,994]	[143,806]	
法人設立費用	0	0	0	
代議員選挙費用	(0)	(0)	(0)	
業務委託費	(2,892,800)	(2,848,096)	(44,704)	
学会事務委託費	2,170,800	2,170,800	0	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	222,000	172,979	49,021	総務事務局委託費
税理士報酬	400,000	421,200	-21,200	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	100,000	83,117	16,883	理事変更の登記
会費集金費	(400,000)	(394,706)	(5,294)	封筒代含む
通信運搬費	(100,000)	(28,511)	(71,489)	
租税公課	(70,000)	(70,000)	(0)	法人市民税5万円・法人府民税2万円
振込手数料	(40,000)	(50,455)	(-10,455)	
HP関連経費	(50,000)	(75,531)	(-25,531)	
雑費	(150,000)	(91,695)	(58,305)	理事会旅費など
経常費用計	31,143,969	27,138,511	4,005,458	
当期経常収支差額	-3,555,469	3,876,787	-7,432,256	
2．経常外増減の部			0	
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-3,555,469	3,876,787	-7,432,256	
一般正味財産期首残高	44,809,500	45,055,247	-245,747	
一般正味財産期末残高	41,254,031	48,932,034	-7,678,003	

貸借対照表

2018年12月31日現在

一般社団法人　言語処理学会

一般会計　(単位:円)

科　　　目	当年度
Ⅰ　資産の部	
1．流動資産	
現金預金	52,921,262
未収金	0
前払金	1,871,386
資産合計	54,792,648
Ⅱ　負債の部	
1．流動負債	
未払金	924,614
前受金	50,000
前受会費	4,886,000
負債合計	5,860,614
Ⅲ　正味財産の部	
1．指定正味財産	
指定正味財産合計	0
2．一般正味財産	48,932,034
正味財産合計	48,932,034
負債及び正味財産合計	54,792,648

財産目録

2018年12月31日現在

一般社団法人　言語処理学会

一般会計　(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
(流動資産)				
	現金	手元保管	運転資金として	123,398
	預金	銀行預金		52,797,864
		ゆうちょ振替口座		21,634,627
		みずほ銀行		23,626,461
		ゆうちょ総合口座		7,536,776
	未収金			0
	前払金			1,871,386
資産合計				54,792,648
(流動負債)				
	未払金			924,614
	前受金			50,000
	前受会費			4,886,000
	前受正会員			3,912,000
	前受学生会員			172,000
	前受賛助会費			750,000
	前受正会員（シニア）会費			52,000
負債合計				5,860,614
正味財産				48,932,034

附属明細書

貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書として記載すべき事項はありません。

一般社団法人言語処理学会　正味財産増減計算書

2018年 1月 1日から2018年12月31日まで

（単位：円）

科　　目	決算額	備考
1．経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取会費	[8,276,000]	
正会員受取会費	**(6,368,000)**	
正会員当年度	6,264,000	@8,000円×783名
正会員過年度	40,000	@8,000円×5名
正会員（シニア）当年度	64,000	@4,000円×16名
正会員（シニア）過年度	0	
学生会員受取会費	**(388,000)**	
学生会員当年度	388,000	@4,000円×97名
学生会員過年度	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	**(1,100,000)**	
賛助会員当年度	1,100,000	1口50,000円×22口
賛助会員過年度	0	
特殊購読会員受取会費	**(420,000)**	
	420,000	10,000円×42件
事業収益	[22,632,000]	
学術研究事業（年次大会）	**(19,720,000)**	
年次大会参加費	8,550,000	
年次大会懇親会費	1,400,000	
年次大会協賛・広告	8,520,000	
年次大会助成・補助	1,250,000	
普及啓発事業（HP・刊行物等）	**(2,912,000)**	
論文誌広告料	130,000	
別刷代	1,660,000	24巻5号～25巻4号
雑誌頒布収益	21,000	バックナンバー売り上げ
産業界向けイベント参加費	1,101,000	
受取補助金等	[0]	
雑収益	[107,298]	
受取利息	264	
雑収益	107,034	
経常収益計	31,015,298	
(2) 経常費用		
事業費	[23,579,517]	
年次大会開催費	**(13,070,734)**	
年次大会運営サポート費	345,776	NLP2018（3期目分）
受付代行費	1,189,203	参加登録システム等
資料作成費（印刷費）	484,078	プログラム冊子
コンファレンスバック代	223,236	
プログラム委員会費	475,443	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	6,619,856	施設利用、会場備品、休憩室費用
年次大会人件費	816,500	学生アルバイト
年次大会講師謝金等	498,922	
論文賞招待旅費	66,000	
代議員会等会議費	360,334	代議員会、スポンサー（朝食会、イブニング）
表彰関係費	230,000	優秀賞・奨励賞の賞金+賞状等
年次大会懇親会費	1,691,390	
実施委員会費	0	
託児委託費	0	
年次大会雑費	69,996	
普及啓発事業	**(10,508,783)**	
論文誌印刷費	2,692,329	25巻1号～25巻5号
論文誌通信運搬費	738,821	25巻1号～25巻5号
論文誌編集費	1,357,992	25巻1号～25巻5号
論文誌電子化費用	106,380	25巻1号～25巻5号
編集委員会費	377,346	会合費、旅費、他
編集事務局費	1,584,517	編集事務局給与（2017.12～2018.11）
特殊購読・雑誌頒布経費	195,999	
論文誌活性化支援	113,284	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	252,600	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	

科　　目	決算額	備考
国際会議参加支援費	1,750,000	
産業界向けイベント開催費	1,239,515	
普及啓発事業雑費	0	
管理費	[3,558,994]	
法人設立費用	0	
代議員選挙費用	(0)	
業務委託費	(2,848,096)	
学会事務委託費	2,170,800	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	172,979	総務事務局委託費
税理士報酬	421,200	顧問料、年末法定調書類、決算書類の作成業務
司法書士報酬	83,117	理事変更の登記
会費集金費	(394,706)	封筒代含む
通信運搬費	(28,511)	
租税公課	(70,000)	法人市民税5万円・法人府民税2万円
振込手数料	(50,455)	
HP関連経費	(75,531)	
雑費	(91,695)	理事会旅費など
経常費用計	27,138,511	
当期経常収支差額	3,876,787	
2．経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外収支差額	0	
当期一般正味財産増減額	3,876,787	
一般正味財産期首残高	45,055,247	
一般正味財産期末残高	48,932,034	

●上記の通り報告いたします。

一般社団法人言語処理学会財務理事　落谷　亮　印

一般社団法人言語処理学会財務理事　山下達雄　印

●監査の結果、上記の結果に相違ありません。

一般社団法人言語処理学会　監　事　永田昌明　印

一般社団法人言語処理学会　監　事　田中英輝　印

2019年　2月　1　日

監査報告書

2019 年 2 月 1 日

一般社団法人　言語処理学会

会 長　佐 藤　理 史　殿

一般社団法人　言語処理学会

監　事　永田昌明　印

監　事　田中英輝　印

私たちは 2018 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日までの 2018 年度における一般社団法人言語処理学会の会計および業務の監査を行い、その結果を報告します。

１．　監査の方法の概要

（１）会計監査については、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続を用いて計算書類の正確性を検討した。

（２）業務監査については、理事会への出席、理事からの報告の聴取、関係書類の閲覧などを行い、業務執行の妥当性を検討した。

２．　監査の結果

（１）正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録は会計帳簿の記載金額と一致、法人の財政状況を正しくしめしているものと認めます。

（２）事業報告の内容は、事実に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。

以上

2019 年度事業計画

1. 運営・活動方針

2019 年度もこれまで通り, 論文誌「自然言語処理」の発行と年次大会の開催を中心に, 言語処理学会の設立の目的に沿った運営・活動を進めます. さらに, 昨年度より開始した, 自然言語処理技術の普及に向けたイベントを今年度も開催する予定です.

2. 会誌の発行

- 第 26 巻第 1 号 (2019 年 3 月中旬発行予定, 通巻 119 号)
- 第 26 巻第 2 号 (2019 年 6 月中旬発行予定, 通巻 120 号)
- 第 26 巻第 3 号 (2019 年 9 月中旬発行予定, 通巻 121 号)
- 第 26 巻第 4 号 (2019 年 12 月中旬発行予定, 通巻 122 号)

なお, 2018 年 1 月より同期式査読に移行し, すべての通常号の編集を予め設定したスケジュールに従って行っています. これにより「○月○日までに投稿すれば△月△日までに必ず採否が決まる」というように日程が保証され, 投稿計画が立てやすくなりました. これまでの編集トラックは 3 ヶ月間隔でしたが, 2019 年 2 月からはこれを 1 ヶ月間隔に短縮する予定です.

3. 第 25 回年次大会の開催

日時: 2019 年 3 月 12 日(火)～ 3 月 15 日(金)
会場: 名古屋大学 東山キャンパス
3 月 12 日(火)
　　チュートリアル
　　スポンサーイブニング
3 月 13 日(水) 本会議 第 1 日
　　オープニング
　　招待講演
　　懇親会
3 月 14 日(木) 本会議 第 2 日
　　招待講演
3 月 15 日(金) 本会議 第 3 日
　　招待論文
　　特別企画
　　クロージング

4. ニュースレターの発行

原則として, 前年と同様の回数と内容で発行予定です. 学会のメーリングリストを通じて配布します. これらは, 学会のホームページにバックナンバーとして公開します.

5. 会議

◇社員総会

2019 年 3 月の年次大会に併せて, 2019 年度社員総会を開催します. 予算・決算, 学会全体の活動の活性化に向けた施策, 関連する研究分野との交流の促進などについて審議, 承認します.

◇理事会

昨年度同様に 6 回程度開催します. 論文等の電子的公開, 年次大会の開催, 他学会との連携などについて審議します.

◇編集委員会

編集委員会は, メールによる審議をベースとし, これまで通りの効率的な運営に努めます. 会誌をより活性化し, 会員にとってさらに魅力的なものとするために, 論文の投稿促進施策や, 新たなコンテンツの企画などを継続的に検討します.

6. その他

学会出版企画の「実践・自然言語処理シリーズ」(全 10 巻)の刊行を加速し, 2020 年 3 月までの全巻刊行を目指します.

若手研究者への研究発表支援策として開始した, COLING への学生参加旅費支援を, 2020 年度の再実施に向けて継続して検討します.

自然言語処理技術の産業応用を促進するため, 2018 年度に引き続き, 産業界向けのセミナーを開催します.

一般社団法人言語処理学会　予算書

決算予測：2018年 1月 1日から2018年12月31日（12月13日時点予測）

（単位:円）

科　　　目	2018年予算	2018決算予測(通年)	2019年予算額	備考
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	[7,832,000]	[8,384,000]	[8,384,000]	
正会員受取会費	(**6,164,000**)	(**6,376,000**)	(**6,376,000**)	
正会員当年度	5,976,000	6,272,000	6,272,000	@8,000円×784名
正会員過年度	128,000	40,000	40,000	@8,000円×5名
正会員(シニア)当年度	60,000	64,000	64,000	@4,000円×16名
正会員(シニア)過年度	0	0	0	@4,000円×0名
学生会員受取会費	(**308,000**)	(**388,000**)	(**388,000**)	
学生会員当年度	300,000	388,000	388,000	@4,000円×97名
学生会員過年度	8,000	0	0	@4,000円×0名
賛助会員受取会費	(**900,000**)	(**1,200,000**)	(**1,200,000**)	
賛助会員当年度	900,000	1,200,000	1,200,000	1口50,000円×24口
賛助会員過年度	0	0	0	
特殊購読会員受取会費	(**460,000**)	(**420,000**)	(**420,000**)	
	460,000	420,000	420,000	
事業収益	[19,755,000]	[23,060,000]	[21,520,000]	
学術研究事業(年次大会)	(**16,400,000**)	(**19,720,000**)	(**18,290,000**)	
年次大会参加費	6,990,000	8,550,000	7,620,000	
年次大会懇親会費	1,010,000	1,400,000	1,510,000	
年次大会協賛・広告	7,100,000	8,520,000	9,160,000	
年次大会助成・補助	1,300,000	1,250,000	0	
普及啓発事業(HP・刊行物等)	(**3,355,000**)	(**3,340,000**)	(**3,230,000**)	
論文誌広告料	180,000	150,000	150,000	
別刷代	2,455,000	2,080,000	2,080,000	24巻5号～25巻4号
雑誌頒布収益	0	9,000	0	
産業界向けイベント参加費	720,000	1,101,000	1,000,000	会員：37、非会員：63として
受取補助金等	[0]	[0]	[0]	
雑収益	[1,500]	[70,443]	[264]	
受取利息	1,500	264	264	
雑収益	0	70,179	0	
経常収益計	27,588,500	31,514,443	29,904,264	
(2) 経常費用				
事業費	[27,441,169]	[23,638,613]	[25,462,612]	
年次大会開催費	(**13,898,884**)	(**13,070,734**)	(**16,252,612**)	
年次大会運営サポート費	1,732,687	345,776	7,198,643	開催年度の計上に変更
受付代行費	1,143,240	1,189,203	1,189,203	
資料作成費（印刷費）	423,900	484,078	936,166	
コンファレンスバック代	200,000	223,236	100,000	
プログラム委員会費	571,721	475,443	559,900	旅費、Web外注、START、雑費、懇親会費
年次大会会場費	5,649,336	6,619,856	3,003,700	
年次大会人件費	800,000	816,500	0	
年次大会講師謝金等	350,000	498,922	500,000	
論文賞招待旅費	50,000	66,000	70,000	
代議員会等会議費	672,000	360,334	225,000	代議員会、スポンサー(朝食会、イブニング)
表彰関係費	225,000	230,000	330,000	賞金(最優秀3万,優秀2万,若手1万)+賞状等4万
年次大会懇親会費	1,530,000	1,691,390	1,800,000	
実施委員会費	0	0	0	
託児委託費	541,000	0	50,000	
年次大会雑費	10,000	69,996	290,000	
普及啓発事業	(**13,542,285**)	(**10,567,879**)	(**9,210,000**)	
論文誌印刷費	3,347,069	2,692,329	3,000,000	発行数増
論文誌通信運搬費	705,268	739,242	800,000	発送数増
論文誌編集費	1,785,240	1,357,992	1,450,000	
論文誌電子化費用	125,820	106,380	120,000	
編集委員会費	390,000	377,346	390,000	会合費、旅費、他
編集事務局費	1,500,000	1,558,212	1,600,000	編集事務局給与
特殊購読・雑誌頒布経費	210,000	186,667	200,000	
論文誌活性化支援	408,888	112,336	200,000	英文校正等の国際化支援
表彰関係費	150,000	252,600	260,000	論文誌の優秀賞の賞金+賞状等
若手研究者等の支援	100,000	100,000	100,000	若手研究者の研究会等の支援
国際会議開催費	0	0	0	
国際会議参加支援費	4,000,000	1,750,000	0	COLING2016寄付金の活用
産業界向けイベント開催費	720,000	1,308,855	990,000	
普及啓発事業雑費	100,000	25,920	100,000	IMT分担金等、弁護士相談料
管理費	[3,702,800]	[3,620,620]	[4,139,800]	
法人設立費用	**0**	**0**	**0**	
代議員選挙費用	(**0**)	(**0**)	(**160,000**)	2年ごと(奇数年)
業務委託費	(**2,892,800**)	(**2,912,896**)	(**2,724,800**)	
学会事務委託費	2,170,800	2,170,800	2,224,800	中西印刷(株)委託費
総務事務局費	222,000	172,979	0	総務事務局委託費(学会事務委託に編入)
税理士報酬	400,000	486,000	500,000	
司法書士報酬	100,000	83,117	0	理事変更登記,約10万円,2年ごと（偶数年）
会費集金費	(**400,000**)	(**393,676**)	(**400,000**)	封筒代5万円を追加
通信運搬費	(**100,000**)	(**27,231**)	(**100,000**)	
租税公課	(**70,000**)	(**70,000**)	(**470,000**)	法人市民税・住民税・消費税
振込手数料	(**40,000**)	(**49,591**)	(**55,000**)	
HP関連経費	(**50,000**)	(**75,531**)	(**80,000**)	
雑費	(**150,000**)	(**91,695**)	(**150,000**)	理事会旅費など
経常費用計	31,143,969	27,259,233	29,602,412	
当期経常収支差額	−3,555,469	4,255,210	301,852	
2．経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外収支差額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	−3,555,469	4,255,210	301,852	
一般正味財産期首残高	44,809,500	44,809,500	49,064,710	
一般正味財産期末残高	41,254,031	49,064,710	49,366,562	

第5号報告

2018 年度代議員構成

2016－2019 年度代議員		2018－2021 年度代議員	
阿辺川 武	国立情報学研究所	相澤 彰子	国立情報学研究所
出羽 達也	(株)東芝	石下 円香	国立情報学研究所
岩倉 友哉	(株)富士通研究所	海野 裕也	株式会社 Preferred Networks
内山 清子	湘南工科大学	岡崎 直観	東京工業大学
呉 鍾勲	情報通信研究機構	奥村 紀之	大手前大学
後藤 功雄	NHK 放送技術研究所	乙武 北斗	福岡大学
小林 義行	(株)日立製作所	小磯 花絵	国立国語研究所
小町 守	首都大学東京	柴田 知秀	京都大学
相良 美織	株式会社バオバブ	鈴木 潤	東北大学
高梨 克也	京都大学	高橋 雅仁	久留米工業大学
高村 大也	産業技術総合研究所	田村 晃裕	愛媛大学
土屋 雅稔	豊橋技術科学大学	西崎 博光	山梨大学
西川 仁	東京工業大学	泓田 正雄	徳島大学
橋本 泰一	LINE 株式会社	藤田 篤	情報通信研究機構
東中 竜一郎	日本電信電話株式会社	プタシンスキ ミハウ	北見工業大学
村田 稔樹	沖電気工業株式会社	三浦 康秀	富士ゼロックス
		山崎 誠	国立国語研究所
	計16名		計17名